



みどり

令和3年6月30日
調布市立緑ヶ丘小学校
校長 鳥居 圭

E-mail midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

人、絆、そして完治した大腿骨は語る。

校長 鳥居 圭

緊急事態宣言が解除され、調布市の小学校が一斉に、水泳指導実施の運びとなりました。今日も本校のプールからは子供たちの歓声が…今年は残念ながら聞こえてきません。マスクを外しての活動となるため、私語を厳に慎んでの指導となっています。この時期の水泳指導実施につきまして、様々なご意見があることと思いますが、いつも児童の健全な成長を願っている私たち教職員にとりましては、1年の中で今しかできない体験、およそ2年実施できなかった水泳によりやく取り組むことのできる喜び、水と戯れる子供たちの笑顔を見守ることのできる喜びを実感できる瞬間となっています。

子供たちが休み時間に校庭で遊んでいる間も、当番の教職員はその様子を見守っています。先日、追いかけてっこをしていた2年生が激しく転倒した時のことです。見守りの教員が「あっ転んだ。助けに行こう」と動き出そうとしたその瞬間、周りにいた5、6人の子供たちが「大丈夫?」「けがした?」とてんでに駆け寄り、温かい声をかけ、保健室まで連れて行ってくれたそうです。

人類学者のマーガレット・ミード先生が生前、「発掘される、文明の最も古い証拠は何か」という学生からの質問に、こう答えたそうです。それは道具ではない。一回骨折して治癒した痕があるヒトの大腿骨（太ももの骨。人間の骨の中で一番大きいとされる）である。これこそが文明の証拠である。と。野生動物がもし後肢の1本を完全に骨折した場合、まがいなく生き残れない。それができたのは、周囲の仲間が怪我人を救助し、他の害獣から守り、治癒するまで相当の長期間、介護したからだ。そこに人類文明の始まりが示されている、とミード先生は語ったそうです。この逸話が本当かどうかはさておき、人と人とのかかわりこそが人間らしさであり文明なのであるという考えには説得力があります。

コロナウイルスは、人間同士のかかわり、絆、コミュニケーションといった文明性を逆手にとって感染を広めているわけですが、本校の児童は様々な制限にもめげることなく、前向きに自分らしく他者とかかわっている姿が見られ、頼もしく思っています。過日配信の運びとなった運動発表会の動画はいかがだったでしょうか。PTA、有志の方が撮影、編集を引き受けてくださった映像です。たいへんな時間と労力をかけて作っていただいたことがお分かりいただけたと思います。ありがたいことです。ぜひご家族でご覧になり、本人の苦労話なども聞いていただきながら、コミュニケーションを深めていただけたらと思います。

7月の行事予定

日	曜日	行事予定 () は該当学年です。
1	木	保護者会 (3. 4)
2	金	保護者会 (5. 6)
3	土	
4	日	
5	月	クラブ
6	火	5時間授業 避難訓練 安全指導
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	水道キャラバン (4)
14	水	
15	木	保護者会 (5)
16	金	特別時程
17	土	
18	日	
19	月	5時間授業 給食終 大掃除
20	火	特別時程 終業式 水泳指導終
21	水	夏季休業日始 夏季水泳指導①
22	木	海の日
23	金	スポーツの日
24	土	
25	日	
26	月	学校連携観戦プログラム (4-6)
27	火	夏季水泳指導②
28	水	夏季水泳指導③
29	木	夏季水泳指導④
30	金	夏季水泳指導⑤ (夏季水泳指導終)
31	土	



生活目標

『整理・整とんをきちんとしよう
(物を大切にしよう)。』

《夏休み中の登校について》

夏季水泳指導中は南門または、北門からの登校をお願いいたします。それ以外の夏季休業中は、北門は閉鎖いたします。ユーフォー利用の際は南門をご利用ください。その他、夏季休業中、昇降口は閉鎖していますので、職員玄関のインターホンをご利用ください。

《8月の予定》

10日(火)～13日(金) 閉庁日
(学校への出入り、電話対応はできません。)
26日(木) 学校連携観戦プログラム (1～3年)
27日(金) 始業式
日光移動教室事前検診 (6年)
《始業式について》
持ち物 : あゆみ、防災頭巾、筆記用具、上履き等

《夏季水泳教室》

夏季休業中に5日間の水泳指導を行います。
1、期日 [前期] 7/21～30
2、時程 1回目 9:00～10:00 (受付 8:45～)
2回目 10:10～11:10 (受付 9:45～)
3回目 11:20～12:20 (受付 10:55～)
※詳細は別途配布資料をご確認ください。
※夏季水泳指導は、緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置が発令された場合は中止となります。

《いじめ相談窓口》

いじめは、いじめを受けた子供の心に長く深い傷を残す行為です。調布市教育委員会では、いじめ防止対策基本方針の中で、「いじめを見て見ぬふりをせず、声を上げられる学校づくりを目指す」としています。本校では、道徳科授業の充実を図る等児童の豊かな心の育成を図るとともに、児童対象にいじめアンケートを6・11・2月に実施し、いじめに関する情報をいち早くキャッチするようにしています。また、5年生に対しては、スクールカウンセラーと全員の面談も行っています。尚、いじめに関する相談窓口も設けています。

○「いじめ相談窓口」 (担当教員) 山口・宇田・松井